2012年度
決算説明会

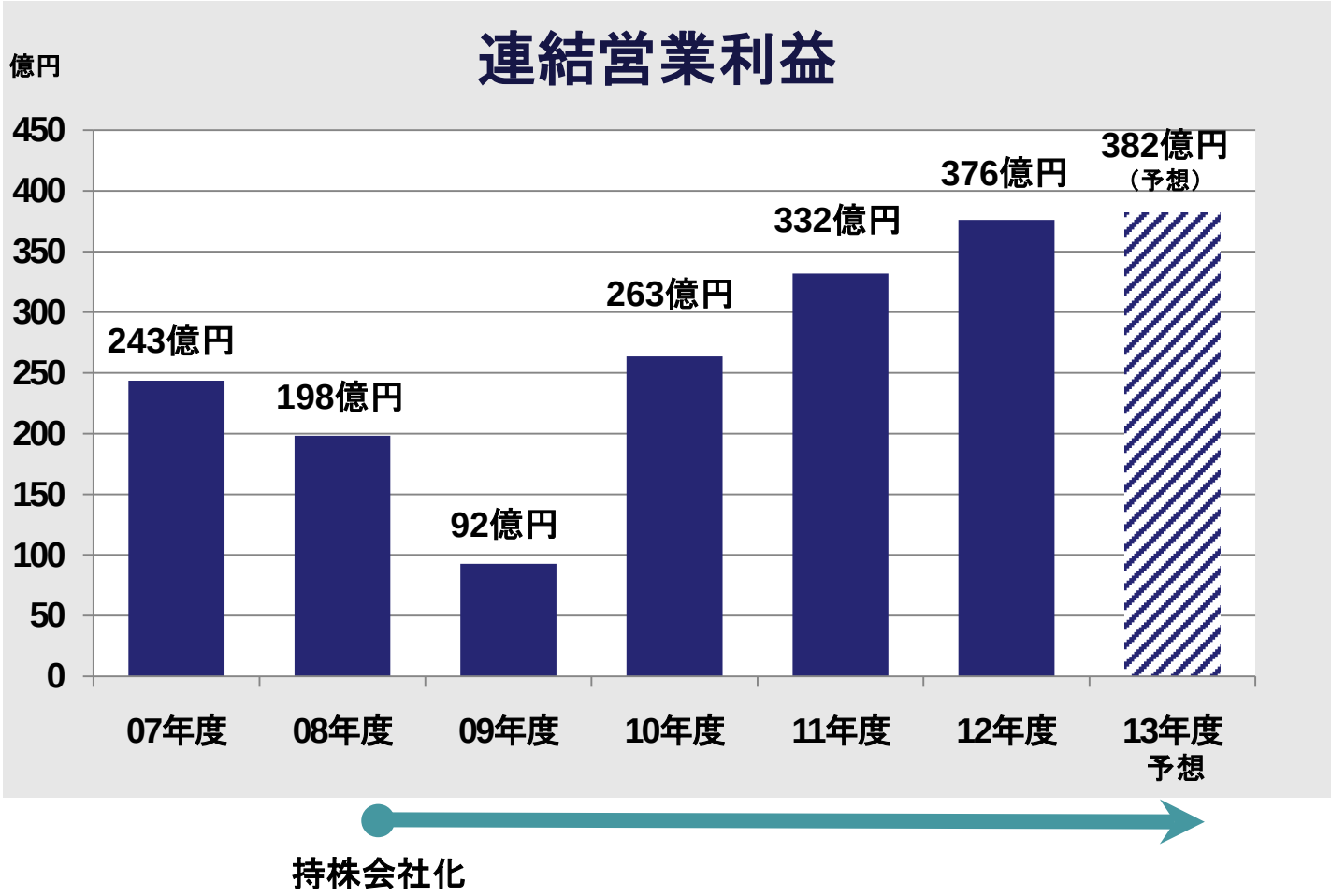
2013年5月21日

株式会社フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

グループの現状と経営ビジョン

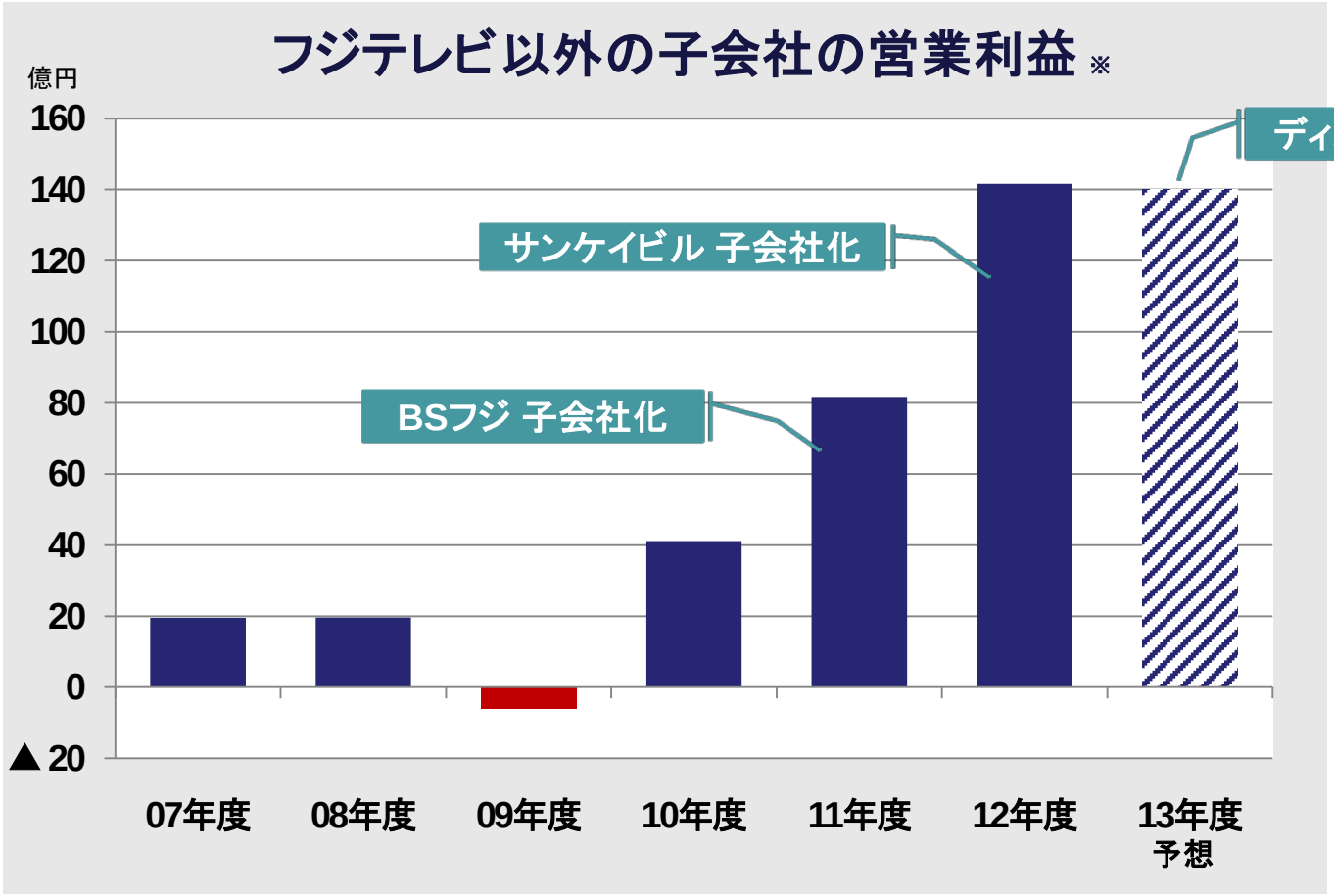
連結営業利益　3期連続の増益を達成



フジテレビ以外の子会社の業績貢献が拡大

フジ・メディア・ホールディングス

- 持株会社のもと、各子会社の収益力を強化
- BSフジ、サンケイビルを子会社化



※連結営業利益と
フジテレビ営業利益の差引額

東京DAIBA・MICE/IR　特区構想

フジ・メディア・ホールディングス

■MICE／IR実現への機運の高まり

◆国の成長戦略、東京都の国際競争戦略で「MICE／IR」が重要課題に

■国際観光拠点 ・ 臨海副都心／台場の優位性

①年間5000万人の来訪者　②羽田・成田空港、都心へ好アクセス
③豊かな景観　④大規模開発が可能な広大な土地

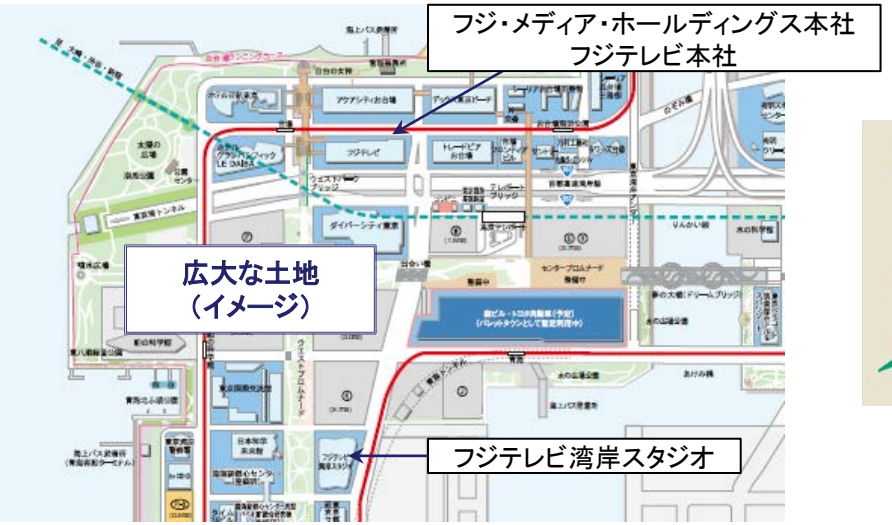
■当社グループは台場地区の開拓者

◆フジテレビの専任チームで実現に向けた検討を推進

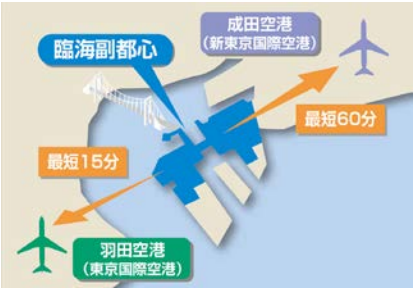
MICE／IRのイメージ

- エンターテイメント
- コンベンション
- リゾート
- ダイニング&ショッピング
- カルチャー
- 先端医療など研究開発

台場の優れた立地条件



（ベースの地図：東京都港湾局資料より抜粋）



東京都港湾局資料
「臨海副都心と空港をつなぐバス路線」

新規分野への取り組み

フジ・メディア・ホールディングス

■「フジ・スタートアップ・ベンチャーズ」（FSV）による投資支援

◆アプリ、WEBサービスの開発等の成長分野に投資

◆デジタル領域におけるグループの新規事業を創出へ





有望なアーティストを発掘する
「ASIA VERSUS」
フジテレビ（毎週金曜 放送）

■新たな海外事業へ「エフ・アイ・メディア企画」設立

◆アジアの放送局と提携、音楽オーディション番組を放送

番組発の音楽著作権ビジネスを展開

◆共通のテレビ通販番組をフジテレビとアジアで放送

高い成長が期待されるアジアの通販市場を狙う



各国の人気商品を紹介
「ASIA SHOPPING KING」
（毎月1回 放送）

当社の業績
および取り組み

2012年度の業績

フジ・メディア・ホールディングス

■連結営業利益376億円　3期連続の増収・営業増益

◆フジテレビ　スポットの停滞により減収・営業減益

映画事業は歴代最高の売上

◆新規の都市開発事業が連結業績に大きく貢献

◆制作事業は積極的な受注で大幅な増収増益

映像音楽事業も、ほぼ前年に並ぶ利益を確保

2012年度　業績概要

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

連結	第4四半期			通期		
	2013年 1月～3月	2012年 1月～3月	増減率	2012年度	2011年度	増減率
売上高	161,401	145,124	11.2%	632,029	593,645	6.5%
営業利益	6,593	4,570	44.3%	37,608	33,204	13.3%
経常利益	6,806	22,489	▲69.7%	47,209	52,320	▲9.8%
当期純利益	4,404	44,615	▲90.1%	31,337	61,213	▲48.8%

※2011年度の経常利益には、系列局株式取得に係る負ののれん発生益（155億円）、当期純利益にはサンケイビル株式取得に係る負ののれん発生益等（250億円）が含まれます。2012年度の経常利益には、関西テレビ放送の株式取得に係る負ののれん発生益（68億円）が含まれます。

フジテレビ	第4四半期			通期		
	2013年 1月～3月	2012年 1月～3月	増減率	2012年度	2011年度	増減率
売上高	77,671	80,524	▲3.5%	323,581	329,013	▲1.7%
営業利益	2,753	4,900	▲43.8%	23,449	25,039	▲6.4%
経常利益	2,705	5,004	▲45.9%	23,548	25,666	▲8.2%
当期純利益	948	2,147	▲55.8%	13,177	12,451	5.8%

セグメント別業績 【通期】

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	2012年度	2011年度	増減率	2012年度	2011年度	増減率
放送	352,088	355,215	▲0.9%	25,342	27,166	▲6.7%
制作	51,720	44,611	15.9%	2,940	2,259	30.2%
映像音楽	58,690	59,547	▲1.4%	2,572	2,583	▲0.5%
生活情報	132,323	134,744	▲1.8%	1,072	1,440	▲25.6%
広告	41,127	39,562	4.0%	82	135	▲39.2%
都市開発	40,172	-	-	5,444	-	-
その他	27,430	27,160	1.0%	741	769	▲3.7%
調整額	▲71,525	▲67,197	-	▲586	▲1,151	-
連結	632,029	593,645	6.5%	37,608	33,204	13.3%

≪主な連結会社≫

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス、セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス、協同広告
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

フジテレビ　放送収入

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

	2013年1月～3月	2012年1月～3月	前期比増減	前期比増減率
ネットタイム	28,012	27,515	496	1.8%
ローカルタイム	3,582	3,889	▲307	▲7.9%
スポット	27,028	30,590	▲3,562	▲11.6%
放送収入	58,623	61,996	▲3,373	▲5.4%

	2012年度通期	2011年度通期	前期比増減	前期比増減率
ネットタイム	113,205	112,553	651	0.6%
ローカルタイム	15,289	15,986	▲696	▲4.4%
スポット	114,494	119,564	▲5,069	▲4.2%
放送収入	242,989	248,105	▲5,115	▲2.1%

13年度　4期連続増益予想　営業利益382億円

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

連結	上期予想	前期比	下期予想	前期比	通期予想	前期比
売　上　高	311,500	2.2%	331,200	1.2%	642,700	1.7%
営業利益	16,200	▲14.6%	22,000	18.1%	38,200	1.6%
経常利益	17,100	▲37.4%	23,000	15.5%	40,100	▲15.1%
当期純利益	9,800	▲45.7%	14,200	6.8%	24,000	▲23.4%

※前期の上期・通期の経常利益には、関西テレビ放送の株式取得に係る負ののれん発生益（68億円）が含まれます。

フジテレビ	上期予想	前期比	下期予想	前期比	通期予想	前期比
売　上　高	164,100	▲0.1%	163,300	2.5%	327,400	1.2%
営業利益	10,600	▲20.7%	13,600	34.9%	24,200	3.2%
経常利益	10,800	▲20.7%	13,500	35.9%	24,300	3.2%
当期純利益	6,300	▲21.4%	8,000	54.8%	14,300	8.5%

	上期予想	下期予想	通期予想	
ネットタイム	▲2.7%	▲0.2%	▲1.5%	
ローカルタイム	▲10.0%	0.1%	▲5.2%	
スポット	0.4%	10.9%	5.7%	
放送収入	▲1.8%	5.1%	1.7%	（前期比）

フジテレビ　番組改編の取り組み

フジ・メディア・ホールディングス

■4月　視聴率反転に向け好スタート

◆連続ドラマ、主力バラエティが高視聴率で牽引

◆主要ターゲットのF1、M1層を中心に、
キッズ、ティーン、F2、M2層でも高い支持

◆若者層ターゲットの23時台バラエティが大きく改善

月曜～金曜　12年10月～13年3月の平均5.9% → 4月月間 平均7.3%

フジテレビ　世帯視聴率

	2013年4月	2013年1月-3月
G	11.0%	10.5%
P	11.3%	10.6%
全	7.1%	6.9%

ビデオリサーチ調べ



「ガリレオ」をはじめ
4月クールドラマが高視聴率



バラエティは看板番組が牽引

■課題は、バラエティと情報の新番組の浸透・定着

フジテレビ 非広告事業の状況

フジ・メディア・ホールディングス

■ その他事業

（単位：百万円）

	2012年度	2011年度	増減
その他事業収入	46,750	48,512	▲1,761
イベント	10,041	17,095	▲7,054
映画	13,655	8,599	5,055
ビデオ	5,641	6,745	▲1,104
MD	6,964	6,921	43
デジタル	5,032	4,206	825
その他	5,415	4,942	473

■ その他放送事業

（単位：百万円）

	2012年度	2011年度	増減
その他放送事業収入	33,841	32,395	1,445
番組販売	18,925	18,335	590
CS放送・その他	14,915	14,060	855

◆12年度は映画事業が歴代最高売上、デジタル事業は初の売上50億超え

◆13年度は前年の超大作映画の反動減　各事業で収益を積み上げ

2013年度　放送以外の各事業

フジ・メディア・ホールディングス

■生活情報事業　大幅増益の営業利益25億円を見込む

◆「株式会社ディノス・セシール」 7月発足

◆規模のメリットも活かし、販売力・購買力を強化、業績向上を図る

■映像音楽事業および制作事業

今期も20億円台の営業利益を見込む

■都市開発事業　今期は減益を見込む

◆ビル事業はテナント入れ替えで一時的な減収

◆住宅事業は販売予定戸数が前年より減少

セグメント別業績予想 【通期】

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：億円）

	売上高				営業利益			
	2013年度 通期予想	2012年度 通期	増減額	増減率	2013年度 通期予想	2012年度 通期	増減額	増減率
放送	3,551	3,520	30	0.9%	261	253	7	3.0%
制作	490	517	▲27	▲5.3%	24	29	▲5	▲18.4%
映像音楽	600	586	13	2.2%	26	25	0	1.1%
生活情報	1,394	1,323	70	5.3%	25	10	14	133.2%
広告	412	411	0	0.2%	1	0	0	21.0%
都市開発	408	401	6	1.6%	35	54	▲19	▲35.7%
その他	265	274	▲9	▲3.4%	5	7	▲2	▲32.5%
調整額	▲693	▲715	-	-	5	▲5	-	-
連結	6,427	6,320	106	1.7%	382	376	5	1.6%

≪主な連結会社≫

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィック音楽出版
生活情報	ディノス※、セシール※、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス、協同広告
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

※2013年7月合併予定（新会社名「ディノス・セシール」）

セグメント別業績予想 【上期】

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：億円）

	売上高				営業利益			
	2013年度上期予想	2012年度上期	増減額	増減率	2013年度上期予想	2012年度上期	増減額	増減率
放送	1,765	1,768	▲3	▲0.2%	117	146	▲29	▲20.3%
制作	239	257	▲18	▲7.1%	10	16	▲6	▲39.2%
映像音楽	304	281	22	7.9%	13	12	0	7.2%
生活情報	638	618	19	3.2%	0	▲5	5	-
広告	202	187	14	7.6%	0	▲0	0	-
都市開発	179	158	20	12.8%	19	24	▲5	▲21.5%
その他	127	129	▲2	▲1.7%	1	3	▲2	▲73.2%
調整額	▲339	▲352	-	-	2	▲7	-	-
連結	3,115	3,048	66	2.2%	162	189	▲27	▲14.6%

フジテレビ 売上高・営業費用内訳

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

	第4四半期			通期		
	2013年 1月～3月	2012年 1月～3月	増減率	2012年度	2011年度	増減率
放送事業収入	66,887	70,369	▲4.9%	276,831	280,501	▲1.3%
放送収入	58,623	61,996	▲5.4%	242,989	248,105	▲2.1%
その他放送事業収入	8,264	8,373	▲1.3%	33,841	32,395	4.5%
その他事業収入	10,783	10,154	6.2%	46,750	48,512	▲3.6%
売上高合計	77,671	80,524	▲3.5%	323,581	329,013	▲1.7%
放送事業原価	43,287	43,490	▲0.5%	177,181	177,281	▲0.1%
その他事業原価	9,642	9,403	2.5%	38,037	41,742	▲8.9%
販売費・一般管理費	21,988	22,730	▲3.3%	84,913	84,950	▲0.0%
営業利益	2,753	4,900	▲43.8%	23,449	25,039	▲6.4%

フジテレビ　番組制作費

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：億円）

	2012年度	2011年度	増減率
第1四半期	235	241	▲2.8%
第2四半期	257	240	7.0%
上期	492	482	2.1%
第3四半期	253	266	▲4.9%
第4四半期	247	243	1.6%
下期	501	510	▲1.8%
通期	993	993	0.1%

※自社制作番組及び
購入番組の直接費

フジテレビ【映画事業】

フジ・メディア・ホールディングス

■13年も多くの期待作品を公開

1月26日	ストロベリーナイト	竹内結子　西島秀俊　大沢たかお 興収20億を超える大ヒット
3月30日	ドラゴンボールZ　神と神	興収29億円を突破（5月19日現在） 17年ぶりの劇場版最新作大ヒット
6月29日	真夏の方程式	福山雅治　吉高由里子　北村一輝　杏　他 4月クール・月9ドラマも絶好調の「ガリレオ」 劇場版が5年ぶりにスクリーンへ登場
8月3日	謎解きはディナーのあとで	櫻井翔　北川景子　椎名桔平　中村雅俊　宮沢りえ　他 2011年のベストセラー小説、火9ドラマの人気作を映画化 新たな難事件に毒舌執事・影山（櫻井）が挑む！
11月9日	清須会議	役所広司　大泉洋　小日向文世　佐藤浩市　他 三谷幸喜が超豪華キャストで贈る、 傑作歴史エンタテインメント



「真夏の方程式」
6月29日公開



「清須会議」
11月9日公開

■自社製作作品から、多岐にわたる長期の収益機会

◆DVD&Blu-ray、配信、放送権販売等、大型ヒット作品からの収益貢献が継続

◆国内最大の映画製作会社として映画配信ビジネスを主導

定額制配信、モバイル向け配信市場にも進出し、収益機会を拡大へ

フジテレビ【イベント事業】

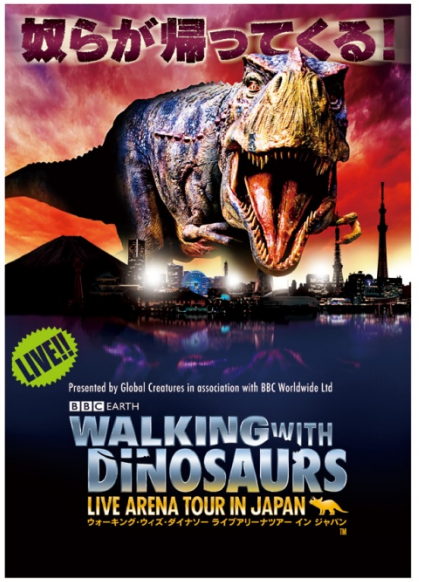
フジ・メディア・ホールディングス

■ウォーキング・ウィズ・ダイナソー



実物大の恐竜が「走り、吼え、戦う」
ライブ・アリーナツアー

3年ぶりの日本上陸



◆7月12日～8月25日　横浜、名古屋、大阪、さいたま、福岡、広島

■マイケル・ジャクソン　ザ・イモータル　ワールドツアー



マイケル・ジャクソンの歌声＆映像と、
シルク・ドゥ・ソレイユのパフォーマンスが融合



◆チケットセールス好調　　一部公演では立見席も設定

◆5月9日～6月16日　　さいたま、横浜、名古屋、福岡、大阪

フジテレビ【ビデオ事業・MD事業】

フジ・メディア・ホールディングス

ビデオ事業

◆人気の連続ドラマが収益を牽引

◆普及が進むブルーレイを中心に据え、収益拡大を図る

MD事業

◆「ビストロSMAP」 限定コラボメニューが大ヒット



大手流通グループと共同開発
「ビストロSMAP」
コラボメニュー

◆「チャギントン」　プラレールシリーズの展開で
ライセンス収入が大きく拡大

◆「ガリレオ プロジェクト」　大手コンビニチェーンでキャンペーンを実施
4月クールドラマから劇場公開（6月）にかけて多様なMD展開

フジテレビ【デジタル事業】 番組配信

フジ・メディア・ホールディングス

■見逃し配信を中心に着実な成長

◆12年度放送の全ての地上波ドラマ枠で見逃し配信を実施

◆めちゃイケ 「ヨモギダ少年愚連隊」シリーズ

番組との連動企画で配信が大ヒット



「めちゃイケ」
“ヨモギダ少年愚連隊”
地上波と配信が連動して大ヒット

■フジテレビ直営のモバイル向け配信が急拡大

◆スマートフォン、タブレット、パソコンで視聴可能な月額制サービスを導入

（12年4月開始）

◆新たな市場を開拓　モバイル向けが番組配信ビジネスの主力事業へ

フジテレビ【デジタル事業】 ゲーム

フジ・メディア・ホールディングス

■ゲーム事業　12年度の売上は前年比で倍増

◆自社開発のオリジナル作品がロングランヒットで収益貢献

社内にノウハウを蓄積　新たな自社開発作品をリリースへ

◆「みんなのKEIBA　presents　競馬クロニクル」 会員数53万人に



実際の競馬イベントに
合わせた企画が好評
ロングランヒット

■番組連携作品が大ヒット

◆「ヌメロン」 ダウンロード数は250万件を突破

多言語版（英、韓）をリリース、世界のゲーム市場を狙う



毎週月曜23時放送
「ヌメロン」
ゲームアプリがヒット

◆「逃走中」 3DS版が大ヒット、ライセンス収入に大きく貢献

シリーズ番組「戦闘中」のゲーム化も決定



フジテレビ　スポット収入　業種別動向

フジ・メディア・ホールディングス

■2013年1月～3月

業種	シェア	前年シェア	前年比
通信	12.8%	10.8%	8.0%
化粧品・トイレタリー	10.1%	9.8%	▲6.8%
外食・各種サービス	9.8%	11.2%	▲20.2%
エンタテイメント	9.2%	9.5%	▲12.3%
自動車・関連品	8.8%	9.1%	▲11.7%
食品	6.7%	6.2%	▲2.6%
医薬品・医療用品	6.0%	4.6%	17.5%
非アルコール飲料	5.7%	5.9%	▲12.7%
金融・保険	5.6%	4.7%	7.5%

業種	シェア	前年シェア	前年比
流通・小売業	5.4%	5.2%	▲5.5%
衣料・身回品・雑貨	4.2%	4.7%	▲19.2%
不動産・住宅設備	4.1%	4.9%	▲23.9%
事務・精密・光学機器	3.7%	4.3%	▲22.5%
アルコール飲料	3.1%	3.6%	▲22.1%
交通・レジャー・観光	2.2%	2.9%	▲32.9%
家電・AV機器	0.9%	1.3%	▲40.8%
エネルギー・機械	0.4%	0.4%	▲1.6%
その他	1.4%	0.9%	52.6%

※管理数字　　前年比は金額ベース

セグメント別業績 【第4四半期】

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	2013年1月～3月	2012年1月～3月	増減率	2013年1月～3月	2012年1月～3月	増減率
放送	85,265	87,444	▲2.5%	2,985	5,371	▲44.4%
制作	13,550	12,055	12.4%	559	609	▲8.2%
映像音楽	16,189	14,753	9.7%	801	47	-
生活情報	30,948	30,354	2.0%	▲260	▲1,312	-
広告	10,959	10,937	0.2%	16	82	▲80.5%
都市開発	15,846	-	-	2,346	-	-
その他	7,393	6,743	9.6%	148	103	43.3%
調整額	▲18,751	▲17,164	-	▲2	▲329	-
連結	161,401	145,124	11.2%	6,593	4,570	44.3%

放送 ／ 映像音楽

フジ・メディア・ホールディングス

□ ニッポン放送（放送事業）

（単位：百万円）

	2012年度	2011年度	増減率
売 上 高	19,203	18,837	1.9%
営業利益	100	22	353.8%
経常利益	184	152	21.1%
当期純利益	111	▲466	-

□ ポニーキャニオン（映像音楽事業）

（単位：百万円）

	2012年度	2011年度	増減率
売 上 高	45,380	47,234	▲3.9%
営業利益	1,661	2,694	▲38.3%
経常利益	1,774	2,843	▲37.6%
当期純利益	1,014	1,610	▲37.0%

□ BSフジ（放送事業）

（単位：百万円）

	2012年度	2011年度	増減率
売 上 高	11,816	9,587	23.2%
営業利益	1,689	1,855	▲9.0%
経常利益	1,721	1,887	▲8.8%
当期純利益	1,176	2,436	▲51.7%

生活情報／ 広告

フジ・メディア・ホールディングス

□ ディノス（生活情報事業）

（単位：百万円）

	2012年度	2011年度	増減率
売 上 高	61,135	59,767	2.3%
営業利益	1,097	1,340	▲18.2%
経常利益	1,232	1,455	▲15.3%
当期純利益	1,319	1,815	▲27.3%

□ クオラス（広告事業）

（単位：百万円）

	2012年度	2011年度	増減率
売 上 高	38,491	36,519	5.4%
営業利益	170	20	731.3%
経常利益	200	41	386.7%
当期純利益	30	▲86	-

□ セシール（生活情報事業） ※連結

（単位：百万円）

	2012年度	2011年度	増減率
売 上 高	56,052	59,255	▲5.4%
営業利益	721	935	▲23.0%
経常利益	762	1,048	▲27.3%
当期純利益	▲2,243	805	-

□ サンケイビル（都市開発事業）

（単位：百万円）

	2012年度	2011年度	増減率
売 上 高	33,003	33,007	▲0.0%
営業利益	4,736	5,339	▲11.3%
経常利益	3,601	3,779	▲4.7%
当期純利益	250	1,634	▲84.7%

※2011年度は持分法適用会社であるため参考値

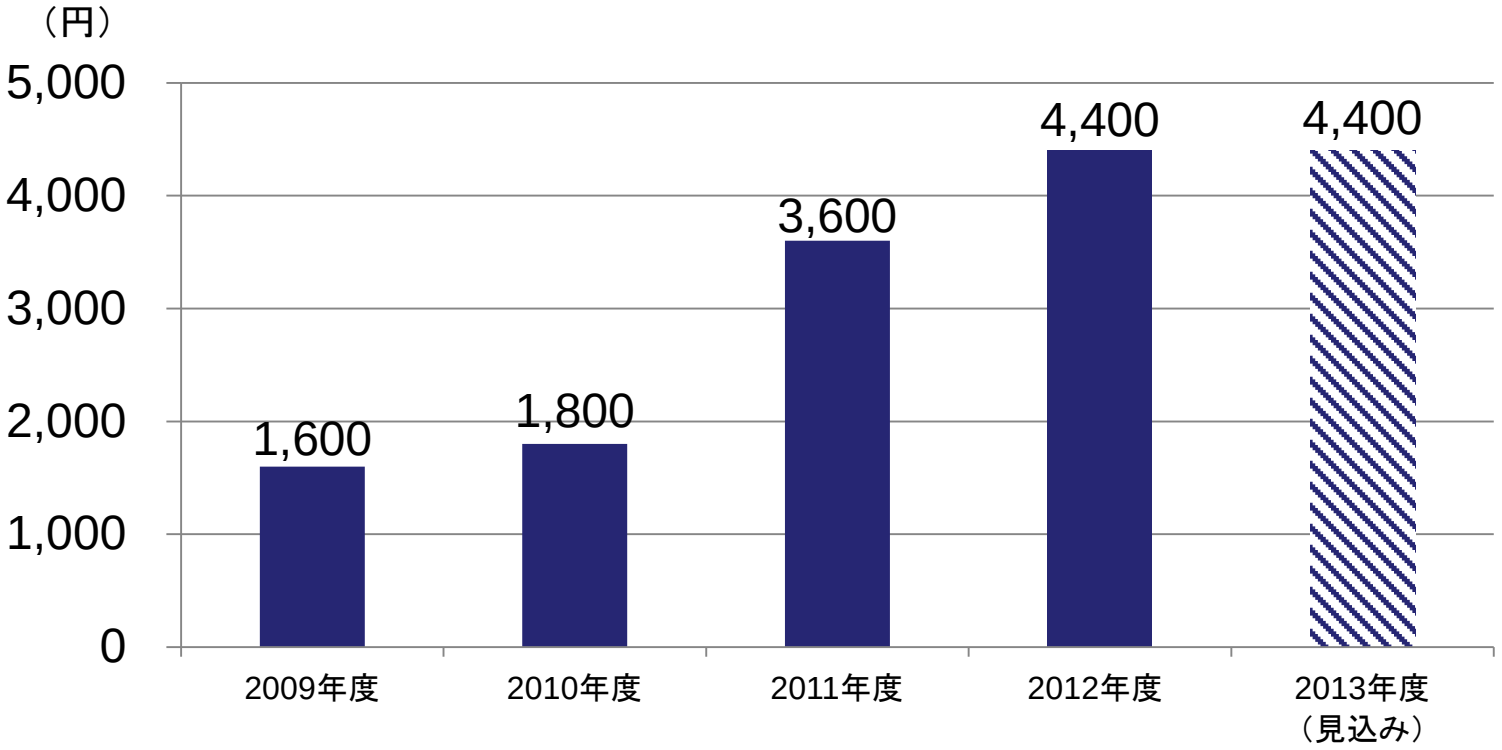
2013年度　配当予想

■ 2012年度　　期末配当　2,200円　　年間配当　4,400円

■ 2013年度　　年間配当　4,400円（見込み）

【配当方針】 目標連結配当性向　　40%

※単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を予定していますが、分割前の株式数で算定した配当予想を記載しています。



設備投資計画

フジ・メディア・ホールディングス

（単位：億円）

設備投資計画		2012年度 通期（実績）	2013年度 通期（予定）	2014年度 通期（予定）
設備投資額	連結	218	317	254
	フジテレビ	74	84	94
	都市開発事業	101	176	144
	フジ・メディアHD	3	4	4
減価償却費	連結	217	214	210
	フジテレビ	110	112	105
	都市開発事業	34	39	39
	フジ・メディアHD	35	25	25

P. 21 ： © 2013 フジテレビジョン／アミューズ／文藝春秋／FNS27社
P. 21 ： © 2013 フジテレビ 東宝
P. 22 ： Photo: OSA Images Costumes: Zaldy Goco © 2011 Cirque Jackson I.P., LLC.
P. 24 ： ©フジテレビ
P. 25 ： ©フジテレビ ©DeNA Developed by CrossGames